

令和7年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立調布大塚小学校

Ⅰ 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・実技活動や製作活動を通して協力し合う態度やお互いの作品を見合ったり教え合ったりする姿が見られ、互いに学び合う態度が身に付いた。
- ・学習用タブレットを活用して作品の途中経過や完成品を記録・保存することで、活動の振り返りや作品鑑賞に役立った。
- ・学んだことを実生活に活かす意識付けをすることで、家族の一員としてできることに関わろうとする姿勢や製作した物を生活に役立てようとしたりする姿を見ることができた。

(2) 課題

- ・児童が主体的・協働的に学ぶための問題提示を工夫すること。
- ・生活経験や興味によって進度や作品の完成度に差が生じるため、個々の児童に応じた技能の支援が必要であること。

2 授業改善のポイント(観点別)

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・実践的・体験的な活動を多く取り入れ、児童が確かな知識・技能が身に付くように家庭生活と学習した知識を結び付けられるよう指導する。 ・ICT機器を活用したり実物を用いたり実際の操作を示したりするなど、具体的なイメージを持たせ、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。 ・基本的な技能のやり方は教えるが、自分なりにやり易い方法を見付け技能方法に幅をもたせる。	・作業の手順のポイントを図やキーワードで示し、見通しをもって取り組めるよう提示方法を工夫する。 ・対話的な活動をする際には、話し合う内容を明確に示す。 ・表現活動においては、教科を横断的にとらえ、既習事項を想起させながら取り組めるようにする。 ・学習用タブレットを活用し、作品写真や振り返りを保存し、共有し合う。	・身に付けた技能を生かせる学習単元を設定し、学習に対しての楽しさや活用する喜びを味わわせる。 ・自分の活動や作品を振り返り、改善できているところを賞賛する。 ・学習したことを実生活にも生かせるよう家庭での仕事(調理・掃除・片付けなど)に取り組む機会を設定する。